

第3回日独ナノワークショップ開催報告



2013年9月3日、筑波大学学生会館において第3回日独ナノワークショップが開催されました。このワークショップは、2011年のドイツ大統領の本学来訪を記念して始まったもので、ドイツ デュースブルグ・エッセン大学(UDE)と交互に開催しています。このワークショップの運営に携わった筑波大学 山本洋平准教授に話を伺いました。

日独ナノワークショップは、ドイツ デュースブルグ・エッセン大学(UDE)と筑波大学のナノテクノロジーに関する研究会であり、これまで両大学が交互に主催して開催してきました。今回は筑波大学において、エネルギー変換・貯蔵、燃料電池、および新しいエレクトロニクス材料に関するテーマで開催されました。ドイツより4名の先生 [Prof. Axel Lorke (UDE), Prof. Roland Schmechel (UDE), Dr. Sylvia Reiche (Max Planck Inst.), Prof. Uwe H. F. Bunz (Ruprecht Karl University)] にお越しいただき、産業技術総合研究所(AIST)、物質・材料研究機構(NIMS)、筑波大学の講演者を併せて計10件の口頭講演が行われました。また、14件のポスター発表やその後の懇親会でも、研究や今後の交流について活発な議論が行われ、大変有意義な会となりました。参加者は大学内外から72名 (内 学生37名) でした。

両大学間では2012年より学生の交流も進めており、これまでに筑波大学からは6名の大学院生がUDEのCeNIDE Nanosummer Programに参加し、7週間の研究留学を体験しています。また、UDEからも2名の学生が筑波大学を訪問し、研究交流を進めています。今後、益々活発な国際交流が行われるものと期待されています。

The 3rd German-Japan Nanoworkshop

Program

Opening Remarks Prof. Junji Nakamura (Univ. of Tsukuba)

Inorganic, Energy Conversion and Storage

— エネルギー変換・貯蔵材料 —

Prof. Takashi Suemasu (Univ. of Tsukuba)
Prof. Axel Lorke (CeNIDE, UDE)
Prof. Yoshikazu Suzuki (Univ. of Tsukuba)
Prof. Hiroko Tokoro (Univ. of Tsukuba)
Prof. Roland Schmechel (CeNIDE, UDE)

(Lunch Break)

Poster Session & Discussion

Fuel Cells

— 燃料電池 —

Dr. Tao Zhang and Prof. Haoshen Zhou (AIST, Tsukuba)
Dr. Sylvia Reiche (Max-Planck Inst.)
Prof. Toshiyuki Mori (NIMS, Tsukuba)

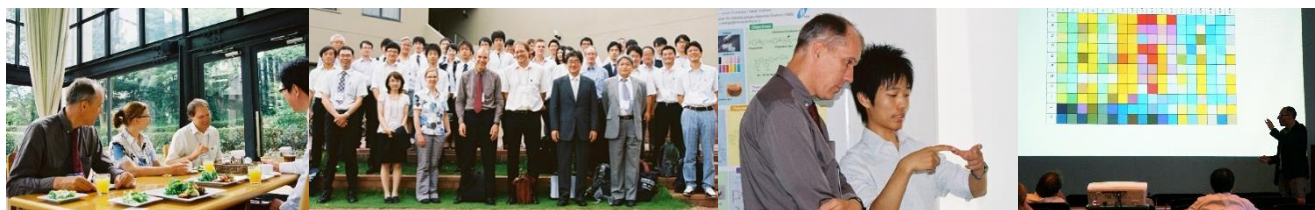
Graphene and Organic Electronics

— グラフェンと有機エレクトロニクス —

Prof. Takahiro Kondo (Univ. of Tsukuba)
Prof. Uwe. H. F. Bunz (Ruprecht Karl University)

Closing Remarks Prof. Junji Nakamura (Univ. of Tsukuba)

Banquet



開催日・場所 2013年9月3日 筑波大学 学生会館

主催 筑波大学 プレ戦略イニシアティブ「グリーンイノベーションのためのキーマテリアル創成戦略組織」
筑波大学 学際物質科学研究センター(TIMSS)

参加人数 72名 (内 学生37名)

TIA連携大学院WG News Letterのバックナンバーは、ウェブサイトでご覧になれます。 <http://tia-edu.jp>